

## 「淡路花博 2015 花みどりフェア」に伴う経済波及効果について

兵庫県立大学政策科学研究所  
地域経済指標研究会

「淡路花博 2015 花みどりフェア」が、“人と自然の共生のステージ”をテーマに平成 27 年 3 月 21 日（土）から 5 月 31 日（日）72 日間、淡路島内で開催された。会期中の入場者数は、当初目標（300 万人）を上回り、淡路市、洲本市、南あわじ市の拠点会場及びサテライト会場（島内 43 観光施設等）で合計 359 万 1 千人であった。

観光客の活動には、移動・飲食・買物・宿泊などの経済的な効果が伴う。経済波及効果は、事業実施時の消費活動に限らず、情報発信や地域資源の再認識、さらには観光地における交流などによる地域へのフレンドシップの醸成を通じた中長期的な要素もあるが、本調査では、淡路花博 15 周年記念事業実行委員会事務局の提供資料により、「淡路花博 2015 花みどりフェア」開催期間中の観光消費を主体とした経済波及効果に限り推計を行った。

推計の前提として、「淡路花博 2015 花みどりフェア」の入場者数等の実績値を用いての最終需要額（直接効果 198 億 2 千万円）を推計した。

「平成 22 年兵庫県産業連関表」及び「平成 22 年淡路地域産業連関表」（地域経済構造分析研究会：兵庫県、神戸大学）を使用し、産業連関分析により経済波及効果（直接効果及び第 1 次間接効果、第 2 次間接効果）を推計した。経済波及効果の推計結果は下記のとおりである。

### 経済波及効果の概要

推計対象期間：平成 27 年 3 月 21 日～5 月 31 日（72 日）

兵庫県内		淡路地域内	
経済波及効果		経済波及効果	
（生産誘発額）	303.4 億円	（生産誘発額）	251.3 億円
付加価値誘発額	168.7 億円	付加価値誘発額	129.1 億円
就業者誘発数	3,338 人	就業者誘発数	2,740 人

項目	兵庫県内	淡路地域内	備考
生産誘発額	303.4	251.3	経済波及効果(売上額の合計)
直接効果	198.2	198.2	事業費等(9.4億円)、来場者消費支出(188.8億円)
第一次間接効果	57.1	29.6	原材料消費から誘発効果
第二次間接効果	48.1	23.5	民間消費支出からの誘発効果
付加価値誘発額	168.7	129.1	(売上額等－経費等)の合計
名目GDP	181,017	4,226	平成25年度付加価値額計
名目GDP比(%)	0.2	5.9	
就業者誘発数	3,338	2,740	経済波及効果を就業者に換算、新規に発生する就業者数
雇用誘発数	2,655	2,045	

(資料)地域経済構造分析研究会(2014)「平成22年兵庫県・淡路地域産業連関表」

## 「淡路花博 2015 花みどりフェア」に伴う経済波及効果について

### 1 主要観光施設入り込み数

会期中(3月21日～5月31日)の淡路市、洲本市、南あわじ市の3会場及びサテライト会場の入込客数は、359万1千人(その他15観光施設を含めると386万3千人)である。

項目	平成26年	平成27年	H27-H26	H27-H26
	3/21-5/31	3/21-5/31	増加数	増加率
淡路会場	344	1,070	726	211.0
洲本会場	119	247	128	107.6
南あわじ会場	136	329	193	141.9
サテライト会場	1,761	1,945	184	10.4
計	2,360	3,591	1,231	52.2
その他(15施設)	261	272	11	4.2
合計	2,621	3,863	1,242	47.4

(資料)淡路花博15周年記念事業実行委員会等調べ

### 2 観光消費支出額の推計

#### (1) 一人当たり消費額及び観光客入込み客の内訳

観光客の消費単価(推計)は日帰り客(7,917円)、宿泊客(35,856円)を使用した。姫路市(2014)「経済効果アンケート調査」観光客消費単価及び兵庫県(2010)「2010花みどりフェア経済効果推計消費単価」を参考に推計した。

観光客入込客(延べ)は、日帰り客が**358万6千人**(92.8%)、宿泊客が27万7千人(7.2%)である。

#### (2) 観光消費支出総額

観光消費支出総額は188.8億円

観光消費支出額＝一人当たり消費額×補正観光客入込み数により推計した。

なお、補正観光客入り込み数については、(社)日本観光振興協会資料、淡路花博15周年記念事業実行委員会調査等により、1人当たり訪問箇所数(3.06回、ただし国営公園、淡路夢舞台温室入場者の一部別途推計)及び1人当たり宿泊数(1.62泊)を補正した。

項目	宿泊者	日帰り者	合計
宿泊費	17.7	0.0	17.7
交通費	21.2	47.4	68.6
土産代	8.9	30.4	39.3
その他費用	13.5	49.7	63.2
合計	61.3	127.5	188.8

(資料)兵庫県「兵庫県観光動態調査」、関係機関・施設資料等により推計

本事業が円滑に展開されるよう主催者側による運営・維持管理、情報発信、警備などの役割も欠かせない要素となる。こうした観光拠点への訪問、地元の関連行事参加、花緑サポーターや会場サービスサポーターなどのボランティア活動など、それぞれ消費支出を伴う活動が行われた。これらの活動に伴う事業費等（9.4億円）を加算した最終需要額は、198.2億円である。

### 3 経済波及効果推計結果

経済波及効果は、兵庫県内で303億4千万円、淡路地域内で251億3千万円である。

経済波及効果の推計結果		(単位: 億円、人)		
項目	生産誘発額	付加価値誘発額	就業者誘発数	雇用者誘発数
兵庫県	303.4	168.7	3,338	2,655
淡路地域	251.3	129.1	2,740	2,045

(資料) 地域経済構造分析研究会「平成22年兵庫県・淡路地域産業連関表」

### 4 地域資源を活かした地域交流活動に向けて

「淡路花博2015花みどりフェア」事業を通じて、関連地域の地域資源に係わる関心が高まった。今後、地域に点在する地域資源を再認識・再発見し、情報発信を継続していくことが、地域の新たな魅力づくりに寄与すると考えられる。市民や地元団体等が地域資源の価値を見直し、親しんでいくことは地域の誇りを高めることにもつながる。

(参考資料)

観光客入込み客数(3/21-5/31、72日換算)の推移						(単位: 千人)	
項目	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	H27-H26
	花みどりフェア					花みどりフェア	増加数
淡路会場	718	267	292	225	344	1,070	726
洲本会場	125	119	123	114	119	247	128
南あわじ会場	137	126	113	105	136	329	193
サテライト会場	1,711	1,428	1,472	1,507	1,761	1,945	184
合計	2,691	1,940	2,000	1,951	2,360	3,591	1,231

(資料) 淡路花博15周年記念事業実行委員会事務局調べ